

## 地域文化をとりまく状況

### モノの喪失

- ・ 文化財の破壊、盗難 開発が進み地域独自の自然や景観が損なわれつつある。
- ・ 昔からの町並みの消滅
- ・ 地域資産の県外流失

### 心の充実

- ・ 文化に対する県民ニーズの多様化、高度化
- ・ 人々の価値観が「ものの豊かさからこころの豊かさへ」変化している
- ・ 団塊世代のリタイヤによる生き甲斐の追求
- ・ 生き甲斐、やりがいをもって、心豊かに生きていくためのベースになるもの
- ・ 自己実現の希求
- ・ いやしや心の充実感の希求

### 人（人材）の不足

- ・ 人口減少、少子高齢化、過疎化、都市化により地域の伝統を受け継ぐ人材が失われてきている。
- ・ 地域の歴史、自然、文化についての継承者の不在
- ・ 核家族化により家庭で受け継がれる文化が弱くなっている。
- ・ 地域文化は地域の履歴であるが、保存・継承が危ない。
- ・ 高齢少子化により地域コミュニティが弱体化している。
- ・ 地域社会の中でリーダーとなる人材の不足
- ・ 地域コミュニティがくずれていく中で人と人を結びつけるものが必要
- ・ 伝統文化の消失、先細り

### 財政的支援の不足

- ・ 地方公共団体の財政状況は先細りの状況（文化関連経費の縮小）
- ・ 地域経済の低迷による個人・企業からの文化活動への支援の低下
- ・ 市町村合併による文化拠点の統合（廃止）

### 情報化・グローバル化

- ・ 情報がたくさんある中で、多様なニーズ、必要とされる情報を的確に得られる拠点が未整備
- ・ 情報化進展による文化交流の活発化、グローバルな情報も入手可能となった。
- ・ 情報化、グローバル化により、地域に限定されない文化の広がりを生み、地域の独自性を弱める。

### 画一化

- ・ 方言の衰退、画一化
- ・ 生活文化の画一化

### 多様化

- ・ 外国人住民の増加や移動の活発化、情報化による多様な文化の混在化
- ・ 価値観が多様化、個人の欲求に対応するための多様な制度、施設が求められている。

### プライバシー化

- ・ 生き甲斐の充足、自己実現など個人のなかで完結し、広がりに欠ける状況がある。

### 実体験の不足 = 本物に触れる機会の不足

- ・ 人間関係の希薄化
- ・ 子どもの経験不足
- ・ バーチャル体験の拡大と実体験の不足
- ・ 世代間コミュニケーションの不足